

子育て環境日本一丹後推進会議 あったか子育てニュースレター

第5号

推進会議の構成団体間の情報共有を目的として発行している「あったか子育てニュースレター」。今回は、第2号でも案内した「子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言」について、取り組まれている企業を訪問し、取材した内容をお届けします。

発行：令和5年8月
子育て環境日本一丹後推進会議
(事務局：丹後広域振興局)



子育てにやさしい職場づくりの取組紹介 丹後海陸交通 株式会社

取材に伺ったのは、天橋立公園・天橋立観光船・伊根湾めぐり遊覧船などの観光業のほか、路線バスの運行をされている丹後海陸交通株式会社。

2019年に宣言しようと思った背景などを、取締役の藤原伸二さん、人事担当課長の田中城二さん、吉岡三千代さんにお話いただきました。



所在地：与謝野町字上山田641-1
設立：昭和19年
従業員：191名
業種：旅客運送業
電話：0772-42-0321

■休暇制度の見直しでワークライフバランスの充実を！

一 早速ですが、どんな取り組みをしておられますか？

育児休暇・有給休暇を取得しやすいように、制度の見直しなどを行いました。休暇制度を社内に浸透させ、休みが取りやすい雰囲気づくりをするために、全職員へ制度についてまとめたハンドブックを配ったり、管理職を対象にした説明を行ってきました。

取組を進めてきたこともあり、最近では会社全体で休みが取りやすい雰囲気になり、有給休暇の取得率は昔と比べても、格段に上がりましたね。

一 休みを取りやすい雰囲気づくりは大切ですね。有給休暇の取得率が向上した要因は何かあるのですか？

以前から、出産の備えなど長期間の休暇に活用できるように、3年間で有給休暇を保有できる仕組み（法定では2年）を制度として整えていましたが、それに加えて有給休暇を半日単位で取得できるようにしました。半日単位の休暇は、保育園の送り迎えや授業参観などに使いやすくと好評です。育児休暇を取得する社員も増えて、ここ最近では常に誰かが育休を取っているような感じです。子育て世代が柔軟に働けるよう、運転士から整備士に職種を変更するなどでもして、育休取組後の復職率は100%！子育て世代への理解が進んでいることも感じています。

一 働きやすい職場づくりを始めたきっかけなどがあれば教えてください。

やはり人口減少に伴う人手不足の影響が大きいです。行動宣言のほか、「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進宣言（※裏面参照）を行い、「認証」を受けているのですが、家庭と仕事を両立して働きやすい環境をつくり、今働いている社員が子育てを理由に退職することなく安心して働き続けられる職場でありたいと思っています。

(裏面に続く)



女性従業員も活躍

■ 地域の子育て世代にとっても、やさしい会社へ

一 子育て世代が利用しやすい取組もしておられるのですか？

ベビーカーの持ち込みも可能ですし、運転士は、ベビーカーや車イスで乗り降りされるお客様を手伝えるよう、日ごろから教育訓練をしているので、子育て世代の方にも利用しやすくなっていると思います。子どもたちをはじめ、親にとっても子供と丹後の美しい景色を見ながらバスに乗って揺られることは、とてもリフレッシュになると思うので、是非たくさん利用いただきたいです。



バスの乗り方講座の様子

一 子供たちにとってバスに乗ったりすることは新鮮ですね。

そうですね。子どもたちがバスに親しみを持ってもらえように、市町と連携し、保育園児などを対象にしたバスの乗り方講座を実施しています。講座に行くと子どもたちは、わくわくした表情で、とっても喜んでくれるので、こちらも嬉しくなりますね。

一 今後の展望などがあればお聞かせください

天橋立傘松公園展望台では、24時間ライブ配信を行っているのですが、これを上手に活用したいと考えています。地域の保育園児や小学生が遠足などで、傘松公園を利用いただくのですが、その様子をライブ配信で閲覧することで、日中働いている親御さんが、子どもの成長を見守られるような仕組みを作りたいと考えています。



WEラブ赤ちゃんの啓発にもご協力いただいています



天橋立観光船
女性運転士も活躍中



傘松公園ライブ配信URLはこちら↑

(取材メモ)

今回、子育てにやさしい職場づくりのお話を中心に伺いましたが、バスの乗り方教室や、バス車体での「WEラブ赤ちゃん」の啓発など、地域の子供達と関わり、見守る会社としての思いなど、多岐にわたりお話いただきました。また、藤原取締役をはじめ、社員の皆様は、傘松公園のライブ配信を昼休みなどによく見られているようで、子どもたちが楽しそうに遊んでいる様子が大好きだとか。私も、ライブ配信を見させていただきましたが、子どもたちが楽しく遊ぶ姿は見ていてとても温かい気持ちになりますね^^皆様も是非ご覧ください。

また、7/22~8/31の期間中は、丹海さんをはじめ、公共交利用促進の取組の一環で運賃支払い時に運転士に「エコサマー」と伝えと、大人1名につき同伴の小学生の子ども2名までが無料になる取組をされています。夏のお出かけに、是非利用してみたいはいかがですか？ (木下)

「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業

ワーク・ライフ・バランスの推進に取組む中小企業を対象とした京都府独自の認証制度です。ワーク・ライフ・バランスの推進「宣言」登録いただいた企業をホームページ等で広く紹介するとともに、関連情報の提供や「認証」に向けた取組みの支援を行い、一定の基準を満たした企業を「認証」しています。

問 京都ウィメンズベース (京都府 文化生活部 男女共同参画課)
075-692-3495

詳細はこちら⇒

